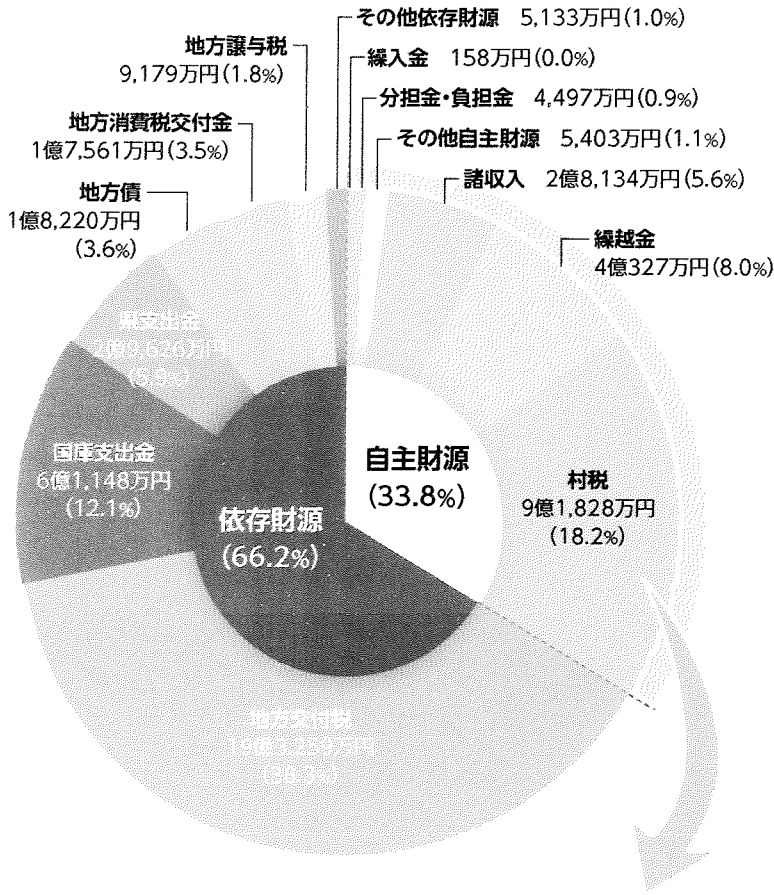
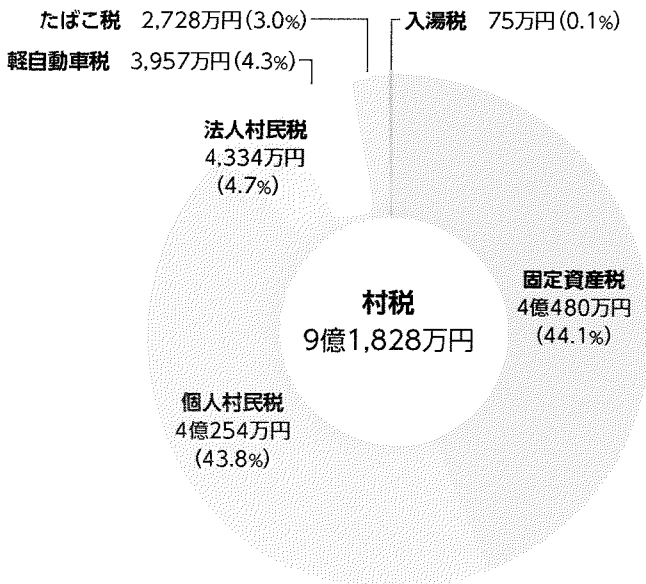


# 令和3年度 決算

問 住民財務課 財政係  
☎79-7924 (直通)



## 村税の内訳



## 令和3年度一般会計歳入決算額

# 50億4,473万円

## 歳入の概要

歳入総額は昨年に比べて5億9,615万円 (10.6%) 減少しました。

減少の主な要因は、国庫支出金・県支出金の減少になります。具体的には、国庫支出金の新型コロナウイルス感染症による地方創生臨時交付金、台風19号の災害復旧事業国庫補助金、県支出金の地域医療介護総合確保基金、地域支えあいプラスワン消費促進事業になります。

## 用語解説

- 自主財源と依存財源
  - 村 税…村民や企業が納めた税金
  - 繰越金…前年度から今年度に持ち越されたお金
  - 諸収入…貸付金の元金収入など
  - 分担金・負担金…特定の利益を受け人から入るお金
  - 地方交付税…行政サービスの一定水準確保のため、所得税など国税の一部が国から交付されるお金
  - 国庫支出金…特定の事業のために国から交付されるお金
  - 県支出金…特定の事業のために県から交付されるお金
  - 地方債…村が事業を行うために国や銀行から借り入れたお金
  - 地方譲与税…本来地方税に属される税金を国が徴収し、村に譲与されたお金

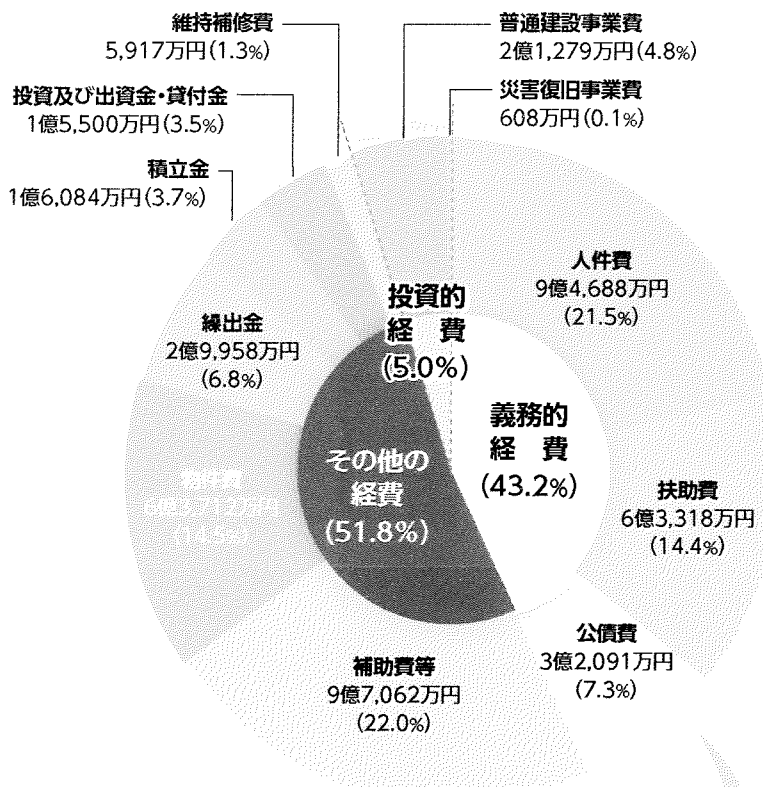
# 令和3年度一般会計 歳出決算額

# 44億217万円

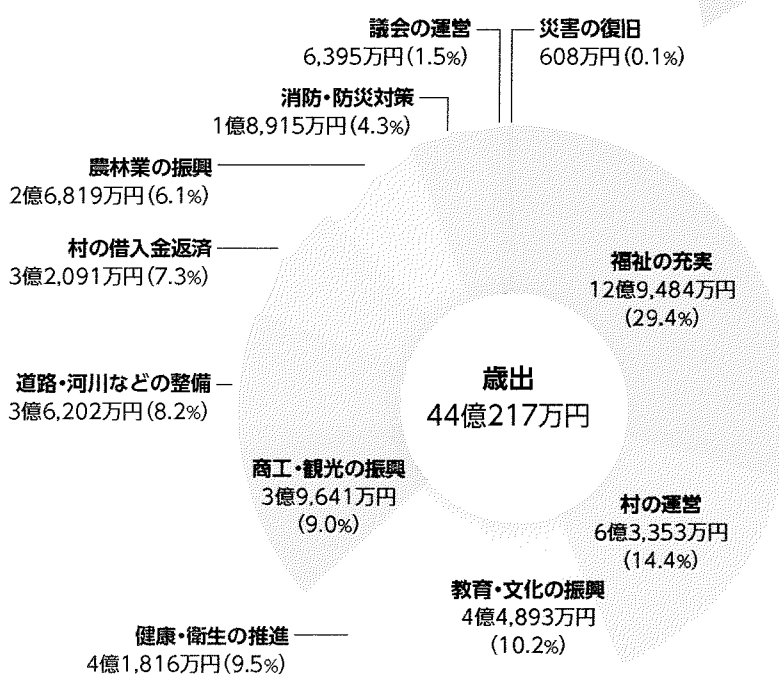
## 歳出の概要

歳出総額は、昨年に比べて8億3,546万円(16.0%)減少しました。

減少の主な要因は、補助費等と災害復旧事業費になります。具体的には、補助費等は、特別定額給付金8億330万円、地域医療介護総合基金事業9,321万円の減少。災害復旧事業費は、令和元年に発生した台風19号の被害による工事費、設計委託料1億3,533万円の減少です。また、令和3年度は、財政調整基金積立金1億円を積立てました。



## 歳出を目的別に分類すると



- 義務的経費…支出が義務付けられている経費
- 人件費…村職員給与、村議会議員報酬など
- 生活保護費…生活保護費、各種医療費の助成など
- 借入金返済…借り入れた地方債(借金)の返済金
- 繰入金…繰入金
- 補助費等…各種団体や個人に支払われる補助金、負担金
- 光熱水費…光熱水費、消耗品費、委託料や使用料など
- 一般会計と特別会計間において支出される経費
- 特定目的のために基金へ積み立てたお金
- 社会資本を整備するための経費
- 道路や橋梁、学校など公共施設の建設費など
- 災害時の補修費など

歳入歳出の差引残額は6億4,256万円、繰越明許・事故繰越により翌年度に繰り越すべき財源は2,886万円で、実質収支額は6億1,370万円の黒字、単年度収支額については2億2,387万円の黒字となりました。

また、財政調整基金への積立て・取崩しを加減した、実質単年度収支額は3億2,684万円の黒字となりました。

地方消費税交付金(社会保障財源化分)が充てられた社会保障施策については、地方消費税交付金(社会保障財源化分)1億437万円を民生費の社会福祉総務費及び老人福祉費の社会保障施策に要する経費の内、人件費及び事務費を除いた経費に係る一般財源分に充てました。また、入湯税(地方税)75万円については、商工費の観光振興に要する経費の一般財源に充てました。

# 特別会計

	歳入額	歳出額	差引額	一般会計からの繰出金・負担額等
国民健康保険事業勘定特別会計	10億5,345万円	9億3,434万円	1億1,911万円	8,154万円
国民健康保険直営診療施設勘定特別会計	1億3,784万円	1億181万円	3,603万円	0円
農業者労働災害共済事業特別会計	273万円	61万円	212万円	0円
後期高齢者医療特別会計	1億741万円	1億505万円	236万円	2,260万円

## 国民健康保険事業勘定特別会計

歳入は前年度に比べ7,140万円7.3%の増加、歳出は4,282万円4.8%増加しました。税率は前年度と同率です。収支差引額は1億1,911万円となり、繰越金を差し引いた単年度収支は2,891万円の黒字でした。被保険者数は2,265人で、1人当たりの医療費は30万円となりました。

## 国民健康保険直営診療施設勘定特別会計

歳入は前年度に比べ100万円0.7%の増加、歳出は82万円0.8%増加しました。収支差引額は3,603万円となり、繰越金を差し引いた単年度収支額は18万円の黒字でした。

令和3年度は、発熱外来や運動器疼痛外来の患者数増加等により、年間延べ患者数は8,816人(前年比106%)と増加しました。

## 農業者労働災害共済事業特別会計

歳入は前年度に比べ35万円14.5%の増加、歳出は31万円103.0%増加しています。収支差引額は212万円となり、繰越金を差し引いた単年度収支は4万円の黒字でした。

令和3年度は、死亡事故は発生しなかったものの、農作業中の事故等6件発生しました。

## 後期高齢者医療特別会計

歳入は前年度に比べ336万円3.2%の増加、歳出は114万円1.1%増加しました。令和3年度の保険料徴収率は100%、医療給付費は前年度比1.4%減の9億4,709万円でした。被保険者数は1,353人で、1人当たりの医療費は76万円となりました。

# 企業会計

		収入額	支出額	差引額	一般会計からの繰出金・負担額等
水道事業会計	収益的収支	1億8,407万円	1億4,062万円	4,345万円	33万円
	資本的収支	0万円	5,025万円	△5,025万円	0円
下水道事業会計	収益的収支	3億3,892万円	1億9,528万円	1億4,364万円	1億7,980万円
	資本的収支	745万円	1億2,998万円	△1億2,253万円	0円

## 水道事業会計

収益的収支(税抜き)について、営業収益は1億3,780万円、うち給水収益が1億2,785万円でした。営業費用は1億3,439万円で、営業利益が341万円でした。営業外収支を含めた経常利益は3,569万円となりました。

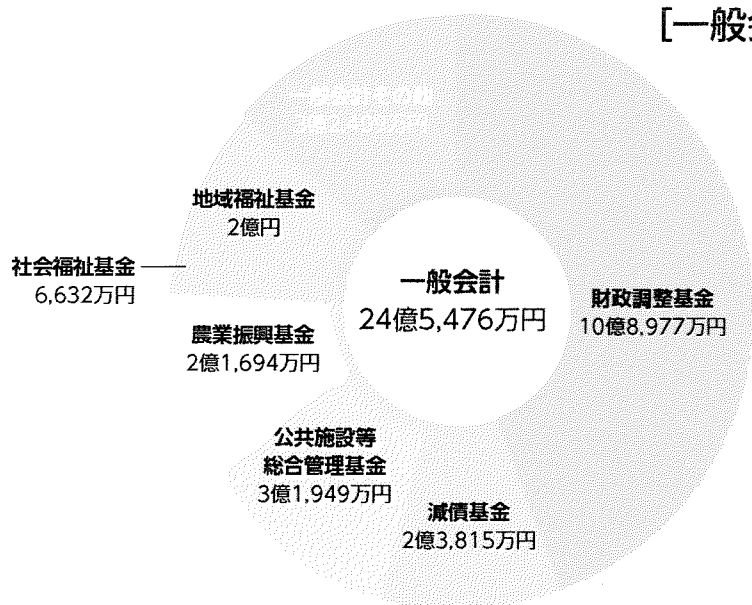
資本的収支について、資本的収入はありませんでした。資本的支出は、企業債償還に733万円、建設改良費として配水管布設替工事等に4,120万円、基金積立に173万円を支出しており、消費税を除いた資本的支出の合計は5,025万円でした。

## 下水道事業会計

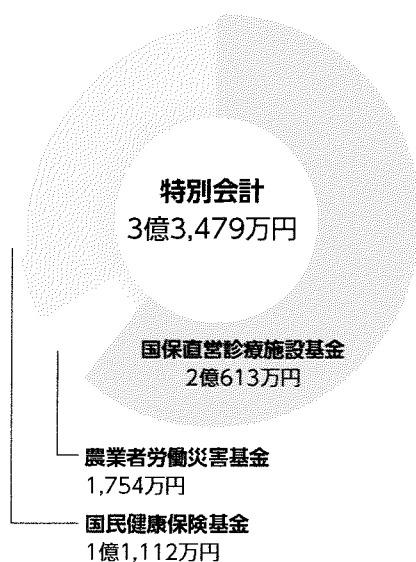
収益的収支(税抜き)について、営業収益は1億1,853万円、一般会計からの繰入金金は1億7,980万円でした。営業費用は1億7,731万円で、営業利益が△5,878万円でした。営業外収支を含めた経常利益は1億3,834万円となりました。

資本的収支について、資本的収入は企業債の借り入れ及び受益者負担金の収入により745万円でした。資本的支出は、企業債償還に1億214万円、建設改良費として流域下水道建設負担金に766万円、マンホールポンプ更新等に2,019万円を支出しており、消費税を除いた資本的支出の合計は1億2,998万円でした。令和3年度末時点での下水道普及率は73.7%となっています。

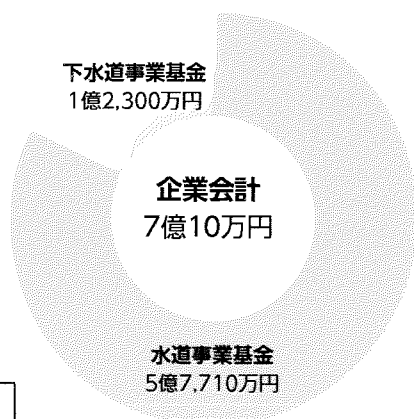
## [一般会計]



## [特別会計]



## [企業会計]

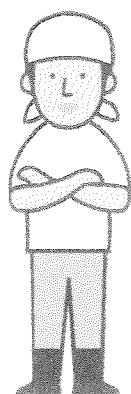


### 一般会計

一般会計	16億5,287万円
------	------------

### 企業会計

水道事業会計	1,305万円
下水道事業会計	2億6,890万円



## 住民一人当たり に換算すると

村税負担額	11万4,570円
積立金	43万5,390円
借入金	24万1,401円
使ったお金	54万9,241円

## 健全化判断比率

※基準値を超えると財政健全化計画の策定が義務付けられます。

	令和3年度	令和2年度	早期健全化基準
実質赤字比率	-	-	15.0%
連結実質赤字比率	-	-	20.0%
実質公債費比率	6.7%	6.4%	25.0%
将来負担比率	-	-	350.0%

※実質収支が黒字のため-（ハイフン）表示

## 経常収支比率

	令和3年度	令和2年度		
	原村	原村	類似団体平均	県内平均
経常収支比率	79.3%	85.2%	87.2%	87.4%
財政力指数	0.38	0.40	0.28	0.40

## 資金不足比率

	令和3年度	令和2年度	経営健全化基準
水道事業会計	-	-	20.0%
下水道事業会計	-	-	20.0%

※資金不足が生じていないため-（ハイフン）表示

財政の健全化を示す各指標は基準値に達しておらず、原村の財政は適正に運営されています。

# 財政指標

### 用語解説

- 実質赤字比率**…一般会計、農業者労働災害共済事業特別会計の実質赤字の比率で、数値が高いほど赤字が多い
- 連結実質赤字比率**…すべての会計の実質赤字の比率
- 実質公債費比率**…公債費及び公債費に準じた経費の財政規模に占める割合で、起債の借入の制限にも利用される
- 将来負担比率**…地方債残高の他、一般会計等が将来負担することが見込まれる負債等の比率
- 経常収支比率**…人件費や物件費、公債費などで毎年支払う「経常的経費」に使道の自由なお金がどのくらい充てられているかを示す比率
- 財政力指数**…地方公共団体の財政力を示す数値で、1に近いほど財政に余裕がある
- 資金不足比率**…公営企業の資金不足の比率

## 原村診療所

(原村国民健康保険直営診療所)

## 医師紹介



諏訪中央病院  
総合診療科研修医

仲田 彩乃

はじめまして。諏訪中央病院総合診療科専攻医2年目の仲田彩乃と申します。10月よりリバーサイドクリニックの研修の中で原村診療所で週1～2回程度、外来を担当させていただきます。出身は山梨県甲斐市で、佐久総合病院で初期研修を終えて、専門研修より諏訪中央病院にお世話になっています。

中学・高校は山梨県北杜市の甲陵高校へ通学していました。原村や富士見町、茅野市から通学している同級生もたくさんおり、こちらへは何度か遊びに来た思い出があります。

診療所の外来では皆さんが健康に過ごせるようなお手伝いをさせていただきます。健康に関すること、その他気になることがあれば、気軽にご相談ください。診療所を出て、地域での活動も是非一緒させていただきたいです。コロナ禍になり人と人の繋がりや子供たちの交流が減っていると感じます。サークル活動や地域でのお祭りなど、再開したいけど、どうすればいいかわからない…などありましたら、どうすればよいか一緒に考えさせてください。

至らない点ばかりかと思いますが、どうぞよろしく願いいたします！

仲田医師の診察日は、22ページをご覧ください。